

# 令和元年度事業報告

## I はじめに

令和元年度は、中期計画の初年度となり、景気については緩やかな回復基調が続き、市内民間企業からの受注の伸びが見られました。しかし、2月末から3月にかけて、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い、3月の受託件数は大きく減少し、パソコン教室や生花教室などの各種教室などについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、延期や中止の対応となりました。

このような中で取り組んできた令和元年度の主な事業の結果ですが、まず、会員数については、新規入会者数は伸び悩んでいる状況にあるものの、様々なPR活動に努めたことにより、ここ数年続いた減少傾向に歯止めがかかり、増加に転じ、令和2年3月末現在664名で、前年度と比較して10名の増となりました。

受託事業(請負)では、受託件数が4,650件と前年度比で8.6%の減となりましたが、契約金額は、前年度比1.7%増の218,298千円となりました。公民比については、公共が42.7%、民間が57.3%となり、前年度比で公共が1.0ポイント増となりました。就業実人員は、前年度比1.6%増の524人、就業率は、前年度と同じ78.9%となりました。

一方、派遣事業については、受託件数は前年同数の8件、契約金額では、前年度比△20.7%減の38,214千円、就業実人員は、前年度比13名減の46人となりました。契約金額が大幅に減少した要因については、一部大手企業の契約が解除されたことがあげられます。

計画した事業については、会員の入会説明会用ビデオをリニューアルし、入会説明会の充実を図ったほか、センターホームページから受注を受け付けるシステム「Web受注チャンネル」の導入や会員の資質向上や技術を高めるための各種研修会、講習会の実施、安全・適正就業の推進などに取り組みました。

このほか、会員拡大の取り組みとして、入会希望者がセンターホームページで、入会申し込みを受け付けるシステム「Web入会チャンネル」を推進したほか、「1人1会員入会運動」や「会員募集チラシ」の全戸配布などを実施しました。

さらに、地域貢献事業として、市内清掃ボランティア活動、小学校通学児童見守りボランティア活動、保育園訪問ボランティア活動などに取り組みました。

センター全体の運営に関しては、平成30年度に「高齢者が輝く魅力あるシルバー人材センターをめざして」を将来像として、「第2次中期計画(2019年度～2023年度)」を策定しましたが、令和元年度は中期計画の初年度にあたり、この基本計画を着実に推進するため、中期計画推進委員会を設置し、同計画の進行管理等を行いました。

また、平成26年度に立ち上げた福祉・家事援助サービス事業推進委員会について、委員会の所掌事項は、概ね終了もしくは既に軌道に乗ったと見込まれるため、改めて本委員会にて運営していく必要性が無く、委員会の役割を終えたと考えられることから、令和元年度末で廃止としました。なお、委員会の所掌事項として、規定されていた事業の充実・推進や会員の研修については、事業部会が引継ぐこととしました。

## Ⅱ 事業実績

### 1 会員の異動状況

令和元年度		令和2年3月末 会 員 数	前 年 度 比
入会者	退会者	664 人 (男 429 人女 235 人)	10 人 (1.5%) (男 8 人 女 2 人)
74 人	64 人		
男 48 人 女 26 人	男 40 人 女 24 人		

### 2 事業実績

#### (1) 受託事業 (請負)

項 目	実 績	前 年 度 比
受 託 件 数	4,650 件 (公共 533 件 民間 4,117 件)	△435 件 △8.6%
契 約 金	218,298,230 円	3,631,452 円 1.7%
	公共 93,239,457 円 民間 125,058,773 円	
配 分 金	200,982,153 円	4,912,253 円 2.5%
就業延実人員	17,297 人	△363 人 △2.1%
就業延日人員	66,077 人	△857 人 △1.3%
公 民 比	42.7 : 57.3	公共 1.0pt 民間△1.0pt
就業実人員	524 人	8 人 1.6%
就 業 率	78.9%	増減なし

#### (2) 労働者派遣事業

項 目	実 績	前 年 度 比
受 託 件 数	8 件 (公共 2 件 民間 6 件)	増減なし
契 約 金	38,214,227 円	△9,993,078 円△20.7%
	公共 26,300,199 円 民間 11,914,028 円	
賃 金	29,547,161 円	△6,684,172 円△18.4%
就業延実人員	458 人	△129 人 △22.0%
就業延日人員	4,923 人	△1,496 人 △23.3%
公 民 比	68.8 : 31.2	公共 14.5pt 民間△14.5pt
就業実人員	46 人	△13 人 △22.0%
就 業 率	6.9%	△2.1 ポイント

### Ⅲ 事業の実施状況

#### 1 会員の増強

シルバー人材センター事業を広く市民等に理解してもらうため、次の事業を実施し会員増強に努めました。

##### (1) センターPRの強化

「シルバーだよりはむら」などの広報やホームページによるPR、会員の口コミによるPR等を推進しました。

事業名	実施結果	備考
① マイナスイメージからの転換を図ったPR（イメージ戦略）（新規） 【広報部会】	・シルバーだよりはむら（5月、8月、10月） ・事務局だより（5月、9月、10月） ・センターホームページにて、ボランティア活動、各種教室、各種講習会、サークル活動等、仕事以外の活動についてPRを行った。	仕事以外の活動を含めピックアップしてPRすることで、イメージの転換を図り、会員数の増強を図った。
② 女性をターゲットにしたPR（新規） 【女性部会】	女性部会だより（第33号）で「女性会員交流会」の活動報告記事を掲載した。	女性向けの講習会として3月に予定していた、ふれあい体験講座「サボテン教室」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を見送った。
③ 『シルバーだよりはむら』『女性部会だより』の発行と会員による会員募集チラシのポスティング 【広報部会】【女性部会】	『シルバーだよりはむら』 会員・発注者向け…5月、10月 市内全戸配布…8月、1月 『女性部会だより』 市内全戸配布…9月	会員及び市民に配布し、会員への情報の提供やシルバー人材センター事業の活動状況を広く周知した。
④ 会員による一人一会員獲得運動 【総務部会】	市内金融機関で年金支給日にチラシ配布を行った。（6月、8月、10月） 新規入会キャンペーンとして、令和元年10月～12月まで「一人一会員入会運動」を実施した。 入会者6名	会員数の増強を図った。
⑤ Web入会の推進 【広報部会】	シルバーだよりはむら、ホームページ、会員募集及び仕事募集チラシでPRを行った。 入会申込数8件うち入会者5名	ホームページからの入会を推進し、会員数の増強を図った。

事業名	実施結果	備考
⑥ 様々な媒体を通じたPR (有料広告)の検討 【広報部会】	羽村市役所ロビーにある「自治体情報案内板」に広告掲載し、PRを行った。	様々な媒体を通じたPRにより会員数の増強に繋げた。
⑦ 市高齢者施策を通じたPRの依頼(市広報等への掲載依頼) 【広報部会】	市広報等に入会説明会や各種講習会及び各種教室のお知らせを掲載した。 掲載延回数24回	シルバー人材センター事業のPRを行った。
⑧ 「シルバーはむらふれあい祭り」の実施 【総務部会】	9月7日、8日実施 来場者延べ1,118名	市民・会員相互の交流を図るとともに、シルバー人材センター事業への理解とPRに努めた。
⑨ 東京しごと財団が行う「広報活動強調月間」に併せたPR活動の実施 【広報部会】	市内清掃ボランティア 10月18日実施 参加者130名 シルバー人材センター写真展 10月(東京しごとセンター)	『羽村市シルバー人材センター』の認知度を高め、会員増強に繋げました。
⑩ 市などが主催するイベント等への参加 【広報部会】	チューリップ祭り 4月6日～25日出店 産業祭 11月2日、11月3日出展	シルバー人材センター事業の紹介やPR活動を行いつつ、就業開拓や会員の入会の促進を図った。

## (2) 入会説明会の充実

事業名	実施結果	備考
① 入会説明会の充実 【事業部会】	毎月1回15日(基準日)実施 出席者86名 入会者69名 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月は中止とした。	1月よりリニューアルした入会説明会用DVDを使用し、入会説明会の充実と入会の促進を図った。
② 入会説明会用ビデオのリニューアル(新規) 【広報部会】	入会説明会用ビデオのリニューアルを行い、1月より運用を開始した。	会員の笑顔を前面に出し、イメージアップを図り、入会説明会の充実を図った。
③ 入会促進キャンペーンの実施(新規) 【総務部会】	入会促進を図るため、1月から3月入会の場合の会費を免除する検討を行った。検討の結果、実施による効果が見込めないことと、既存会員との公平性を保つことが困難なため、取りやめることとした。	

(3) 就業相談の充実

事業名	実施結果	備考
① 就業相談の充実 【事業部会】	毎月1回1日（理事会の翌日）実施 相談者36名 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2・3月は中止とした。	「事務局だより第15号」（6月号）へ特集の記事を掲載し、以後「事務局だより」に開催日時を定期的に掲載した。
② ホームページでのタイムリーな就業情報の提供 【事業部会】	会員専用ページ「Smile to Smile」に就業情報を掲載したほか、新入会員研修会で、「Smile to Smile」の紹介と登録推進を働きかけた。	タイムリーな就業情報の提供を推進した。

(4) 様々な分野の仕事の開拓

事業名	実施結果	備考
資格等一覧の作成（新規） 【就業開拓委員会】	登録されている資格情報を基にホームページに会員資格情報を掲載した。	資格情報をホームページへ掲載し、就業開拓に努めた。

(5) 会員の退会防止に向けた取組み

事業名	実施結果	備考
80代の高齢会員が無理なく働ける就業メニューの検討（新規） 【総務部会】	「就業内容の分業化」を検討した。今年度は植木剪定作業における分業化について検討を行ったが、植木班班長と協議した結果、大規模事業所等では一部可能との見解があったが、受注の大半が一般家庭のため、現実的に困難なことから見送ることとした。	今後も新たな就業メニューの検討・開発を行っていく。

(6) 福祉・家事援助、育児支援分野の仕事の開拓

事業名	実施結果	備考
① 会員コーディネーターの設置及び増員（各地域班への設置） 【福祉・家事援助サービス事業推進委員会】	会員コーディネーターを2名配置（継続）した。	今後、受注量に合わせ会員コーディネーターを増員する。
② ワンコイン事業のPRの推進（高齢者世帯等の住まいと暮らしを支援する） 【福祉・家事援助サービス事業推進委員会】	ワンコイン事業を含む家事援助サービスPRパンフレットを作成し、広報はむら1月15日号と同時に全戸配布した。	地域貢献事業として、対象世帯の利用促進を図った。

事業名	実施結果	備考
③ 羽村市生活支援サービス事業の推進 【福祉・家事援助サービス事業推進委員会】	生活支援家事サポーター養成研修（羽村市主催）への参加（6月19日、26日開催、参加者9名）及び家事援助サービスPRパンフレットを作成し、関係各所（市福祉健康部 介護予防・地域支援係と地域包括支援センター等）へ配布した。（10月）	生活支援サービス就業会員の育成を図り、サービス提供事業者として、円滑な事業の推進に努めた。
④ 家事援助班会員交流会の実施 【福祉・家事援助サービス事業推進委員会】	9月27日 参加者22名 11月22日 参加者17名 1月24日 参加者29名	定期的に交流会を行い、家事援助グループのスムーズな運営を図った。
⑤ 地域包括支援センター、民生委員との連携 【福祉・家事援助サービス事業推進委員会】	福祉・家事援助サービスPRパンフレットを作成し、民生児童委員及び友愛訪問員交流会及び包括支援センターへ説明・配布を行った。	家事援助サービス事業のPRを行った。
⑥ 家庭内清掃研修（新規） 【福祉・家事援助サービス事業推進委員会】	・東京しごと財団によるシルバー人材センター就業支援講習 地域提案型講習「ハウスクリーニング」 6月18日開催 参加者17名 ・センター会員講師による清掃研修（水回り） 9月24日、27日開催 参加者21名	家事援助サービス就業会員の技術の向上を図り、お客様の満足度の向上を図った。

(7) 女性会員活動啓発のためのボランティア活動の実施

事業名	実施結果	備考
① 女性会員活動啓発のためのボランティア活動の実施 【女性部会】	あおぞら保育園でパルーンアート披露の保育園訪問ボランティアを実施し、女性部会委員等6名が参加した。 11月8日訪問	地域貢献と女性会員の生きがいの充実を図るとともに、家事援助・育児支援サービスのPRに役立てた。

(8) 女性会員の増強

女性会員が中心となって、女性会員の増強につながる事業を展開しました。

事業名	実施結果	備考
① 女性会員交流会の実施 【女性部会】	8月1日実施 参加者18名	女性会員間の交流を推進し、女性会員の交流の輪を広げることで、魅力あるセンターのロコミを活性化させ、女性会員数の増強を図った。

事業名	実施結果	備考
② 「ほっとカフェ」の実施 【女性部会】	毎月第三火曜日 11:00~15:00 計11回実施 売上39,300円 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月は中止とした。	市民や会員の交流の場として、「ほっとカフェ」を女性部会だより等で周知し、集客を図った。また、女性会員間の交流促進を図った。
③ 手芸講習会（手芸班） 【手芸班】	・「カテドラル・ウィンドウのポーチ」 5月27日開催 参加14名 ・「金魚のきんちゃく」 8月19日 参加7名 ・「ねずみの縁起まり」 11月25日 参加8名	市民、会員向けに手芸品作りの講習会を実施した。手芸講習会の開催を通じて、手芸品販売促進と手芸班会員の増強を図った。
④ ふれあい体験講座 【女性部会】	3月に「サボテン教室」を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を見送った。	
⑤ 健康講座 【女性部会】	「～手作りのクリスマスカードを作りませんか～」 12月9日実施 参加者20名	会員同士の交流と、健康への意識の向上を図った。

## 2 事業実績の拡大

シルバー人材センター事業を広く市民等に理解してもらうため、次の事業を実施し就業の拡大や開拓に努めました。

### (1) 就業開拓

事業名	実施結果	備考
① 会員による一人一就業開拓運動 【就業開拓委員会】	実績0件	キャンペーン期間を9月～12月に設定し、全会員に周知し実施した。(8月)
② 既受注先への受注依頼及び新規受注先の開拓 【就業開拓委員会】	職員による既受注先訪問を行ったが、受注には至らなかった。	【就業開拓委員会】
③ 地域に密着した家事援助、子育て支援、介護支援分野の仕事の開拓 【福祉・家事援助サービス事業推進委員会】	家事援助サービスPRパンフレットを作成し、広報はむら1月15日号と同時に全戸配布した。	家事援助サービス事業のPRを行った。

事業名	実施結果	備考
④ 人手不足分野（配送仕分け、デイサービス送迎運転、保育補助、スーパー品出しなど）の派遣事業の就業開拓 【就業開拓委員会】	登録されている資格情報を基にホームページに会員資格情報を掲載した。	派遣事業の就業開拓について、他センターの参入業種を調査し、人手不足分野の就業拡大を目指します。
⑤ 就業開拓員の配置 【就業開拓委員会】	就業開拓員の配置を見送った。	令和2年度に就業開拓員を配置し、会員の資格情報や希望職種を調査する。人手不足分野を中心に就業開拓を行い、就業に繋げていく。
⑥ ホームページからの受注システムの検討（新規） 【広報部会】	8月から運用を開始した。申込件数9件	ホームページを活用し、受注の拡大を図った。
⑦ 家事援助サービスのPRの推進 【福祉・家事援助サービス事業推進委員会】	家事援助サービスPRパンフレットを作成し、広報はむら1月15日号と同時に全戸配布した。	家事援助サービス事業のPRを行った。

## (2) 自主事業

会員の持つ知識や経験を活かした自主事業を実施しました。

事業名	実施結果	備考
① パソコン教室	受講者 延376名 (H30 449名) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2/27～中止とした。	市報や「シルバーだよりはむら」やホームページ等で事業PRを行い、受講者を募集した。
② 生花教室	受講者 延216名 (H30 251名) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2/27～中止とした。	市報や「シルバーだよりはむら」やホームページ等で事業PRを行い、受講者を募集した。
③ 学習教室	受講者 延157名 (H30 170名) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2/27～中止とした。	市報や「シルバーだよりはむら」やホームページ等で事業PRを行い、受講者を募集した。
④ 理科・数学教室	受講者 延29名 (H30 55名) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2/27～中止とした。	市報や「シルバーだよりはむら」やホームページ等で事業PRを行い、受講者を募集した。



事業名	実施結果	備考
⑤ 着付け教室	受講者 延31名 (H30 32名) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2/27～中止とした。	市報や「シルバーだよりはむら」やホームページ等で事業PRを行い、受講者を募集した。
⑥ 初級英会話教室	受講者 延118名 (H30 133名) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2/27～中止とした。	市報や「シルバーだよりはむら」やホームページ等で事業PRを行い、受講者を募集した。
⑦ 中級英会話教室	受講者 延138名 (H30 186名) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2/27～中止とした。	市報や「シルバーだよりはむら」やホームページ等で事業PRを行い、受講者を募集した。
⑧ ならし英語教室	募集をしたが、受講者0名だった。 (H30 96名)	市報や「シルバーだよりはむら」やホームページ等で事業PRを行い、受講者を募集した。
⑨ 夏季教室 (理科・数学教室)	募集をしたが、受講者0名だった。 (H30 0名)	市報や「シルバーだよりはむら」やホームページ等で事業PRを行い、受講者を募集した。
⑩ 新たな教室の検討 (新規) 【事業部会】	財団が主催する「会員向けスマホ教室」を開催した。 12月17日開催 出席者19名	令和2年度に、財団が実施する「スマホ教室講師養成講座」の受講案内を行う。

### (3) リサイクル事業

羽村市のごみの減量及び再使用に関する市民意識の高揚を図るとともに、会員の就業の場を提供しました。

事業名	実施結果	備考
リサイクルショップ「トコトン工房」の充実	販売点数 4,109点 (H30 3,726点) 売上金 1,563,000円 (H30 1,399,400円)	広報はむら9月1日号において、リサイクルショップの特集記事が掲載された。

### 3 安全就業の確立

会員が健康で安全に就業できるよう、就業中の事故或いは就業途上における交通事故等の防止を図るため、安全対策を推進しました。

#### (1) 安全管理体制

事業名	実施結果	備考
① 安全・適正就業推進委員会の開催 【安全・適正就業推進委員会】	5月9日、6月20日、9月27日、11月29日、1月10日、2月20日 年6回開催	安全就業の方針の検討や対策、適正就業について協議した。
② 財団等の安全対策会議との連携 【安全・適正就業推進委員会】	・第6ブロック安全就業研修会 9月5日 参加者2名 ・シルバー人材センター安全大会（東京しごと財団主催） 9月20日 参加者2名 ・東京しごと財団が作成した熱中症予防チラシを配分金明細書等へ同封した。（5月）	東京しごと財団や第6ブロックのセンターと様々な機会を捉えて、安全対策の連携を図った。

#### (2) 安全教育、安全意識・適正就業の普及啓発

事業名	実施結果	備考
① 運転業務に関する安全就業基準の検討（新規） 【安全・適正就業推進委員会】	センター車両の使用ルールを定めるため、自動車使用要綱を制定した。10月の理事会で承認された。	運転業務に従事する会員が安全に就業できるよう、他センターから情報収集を行い、自動車使用要綱を制定した。
② 「安全大会」実施の検討（新規） 【安全・適正就業推進委員会】	他センターからの情報収集を行った。	令和2年度に「安全大会」の実施内容について検討を行う。
③ 安全就業基準の徹底 【安全・適正就業推進委員会】	新入会員研修会において、安全就業基準（会員のしおり）を配布するとともに安全・適正就業巡回で周知・徹底を図った。	会員への「安全就業基準」の遵守の徹底を図った。
④ 安全・適正就業巡回の実施 【安全・適正就業推進委員会】	4月22日、5月28日、6月12日、7月19日、9月11日、10月17日、11月11日、12月19日、1月24日、2月26日 10回実施	就業現場を巡回し、安全意識の啓発と適正就業の点検を行った。

事業名	実施結果	備考
⑤ SOSカードの携帯の徹底 【安全・適正就業推進委員会】	新入会員研修会及び10月に全会員に再配布した。また、安全・適正就業巡回で周知及び携帯の徹底を図った。	令和元年度より、防水タイプとした。
⑥ 体力測定の実施 【安全・適正就業推進委員会】	11月22日開催 参加者13名	身体機能の低下を自覚し、安全意識の高揚を図った。
⑦ 健康診断等の奨励 【安全・適正就業推進委員会】	安全・適正就業推進委員会だよりに掲載し周知した。(6月発行第20号、7月発行第21号) また、ふれあい祭りでの健康相談を実施した。(9月7日)	自主的な健康診断の受診を奨励して、健康意識の増進を図った。
⑧ 各種講習会等の開催 【安全・適正就業推進委員会】	熱中症対策講習会 6月17日 参加者34名 危険予知訓練 7月29日 参加者25名 転倒予防講習会 10月7日 参加者26名 自転車交通安全講習会 12月10日 参加者20名 応急救護講習会 2月10日 参加者10名	各種安全講習会を開催し、安全意識の高揚を図った。
⑨ 安全・適正就業推進委員会だよりの発行 【安全・適正就業推進委員会】	6月(第20号)、7月(第21号)、10月(第22号)、2月(第23号)、3月(第24号)	会員向けに「安全・適正就業推進委員会だより」を発行し、安全・適正就業の推進や、事故防止等の喚起を促した。
⑩ 安全就業強化月間(7月)の設定 【安全・適正就業推進委員会】	6月の委員会において、取組内容の検討を行い、7月の強化月間で反映した。	事故ゼロを目指すとともに、強化月間中における会員の安全意識の高揚を図った。
⑪ 「安全宣言」の実施(新規) 【安全・適正就業推進委員会】	7月の強化月間朝礼時に「安全宣言」を参加者全員で唱和した。 7月1日実施 参加者31名	会員同士の安全意識の高揚を図った。
⑫ 安全標語の募集 【安全・適正就業推進委員会】	安全標語を募集した。(12月) 応募人数18名 応募数57点	優秀作品を毎月の安全目標に設定し、センター内に掲示するとともに、配分金明細書にも同封し、安全就業の啓発に努めた。

事業名	実施結果	備考
⑬ 「ヒヤリハット」体験の募集 【安全・適正就業推進委員会】	ヒヤリハット体験を募集した。(5月) 応募数 11 点	安全・適正就業推進委員会だより (3 月発行第 24 号) に掲載し、危険情報の共有化を図り、事故防止に役立てた。
⑭ 事故の検証及び全会員へのフィードバック 【安全・適正就業推進委員会】	事故の 4M 分析を行い、該当職群へ事故情報を周知し、再発防止を図った。	安全・適正就業推進委員会だよりにより事故情報として掲載し、危険情報の共有化を図った。
⑮ 受注及び契約時における就業現場の安全確認 (新規) 【安全・適正就業推進委員会】	就業会員や担当職員が新規就業契約時に確認を行った。	就業現場に潜む危険個所を事前に確認することで、事故を防ぎ、危険を伴う可能性が高い作業については受注しないよう努めた。
⑯ 作業の受注量制限や休業日・予備日の設定の検討 (新規) 【安全・適正就業推進委員会】	熱中症予防対策として、最高気温 35 度以上・暑さ指数 31 度以上で作業を中止するとともに、8 月の作業は原則午前中のみとした。(植木班・除草班)	過剰な受注による就業で、会員の体調管理が困難になることを防いだ。

## 4 就業の改善

### (1) 未就業会員の解消

公共団体、民間企業、家庭及び関係団体等に、高齢者の就業機会の確保についての理解を求めるとともに、新入会員研修及び就業相談の充実など会員の就業率向上を図るため次の活動を行いました。

事業名	実施結果	備考
① 会員のメールアドレスに就業情報を送信するシステムの活用 (新規) 【広報部会】	会員専用ページ「Smile to Smile」に就業情報を掲載し、未就業会員の解消に努めた。	登録者 95 名
② ワークシェアリングの推進 【事業部会】	年間 1 名の就業人員増を図った。	ワークシェアリングを推進する為、発注者と会員に理解・協力を求め、調整を行った。
③ 就業基準の徹底 【事業部会】	継続就業希望会員就業説明会において、事業部会委員が相談員として参加した。 8 月 23 日実施 出席者 34 名 1 月 16 日、17 日実施 出席者 34 名	就業基準を徹底し、長期就業の是正と未就業会員の解消を図った。

(2) 就業会員研修（派遣会員教育訓練）等の実施

事業名	実施結果	備考
① 技能講習会の実施 【事業部会】	「襖・障子の張替え作業」技能講習会 2月17日実施 参加者6名	技能系職種に関する知識・技能を後継会員への継承のための講習会を実施した。
② 接遇研修 【事業部会】	「ビジネスマナー研修」 10月25日、29日、30日実施 出席者69名	お客様のより一層の満足度の向上を図るため、専門講師による研修を実施した。なお、例年1回の実施であったが、より会員が参加しやすいよう3回に分けて実施したため、出席者が増えた。
③ 新入会員研修 【事業部会】	毎月1回（理事会翌日）開催 出席者53名	センターの事業趣旨、会員の心得、ボランティア活動等についての研修を行った。 ※新型コロナウイルス感染防止対策のため、2・3月は中止とした。

(3) 顧客満足度の向上

事業名	実施結果	備考
発注者アンケートの実施 (3年ごと) 【事業部会】	11月分～1月分請求書送付分に発注者アンケートを同封した。 調査件数 432通 回収件数 148通 回収率 34.3%	令和2年度に、アンケート結果を検証し、発注者の満足度向上に役立てる。

(4) 就業のミスマッチ

事業名	実施結果	備考
技能講習会の実施 (再掲) 【事業部会】	「襖・障子の張替え作業」技能講習会 2月17日実施 参加者6名	技能系職種に関する知識・技能を後継会員への継承のための講習会を実施した。

## 5 適正就業の推進

事業名	実施結果	備考
① 安全・適正就業巡回の実施（再掲） 【安全・適正就業推進委員会】	4月22日、5月28日、6月12日、7月19日、9月11日、10月17日、11月11日、12月19日、1月24日、2月26日 10回実施	就業現場を巡回し、安全意識の啓発と適正就業の点検を行った。

事業名	実施結果	備考
② 適正就業ガイドラインに沿った事業運営 【事務局】	「適正就業ガイドライン」を新規発注者や入会説明会で配布し、適正就業の理解を求め、適正就業を推進した。	会員・発注者へ適正就業の理解を求め、適正就業を推進した。
③ 長期就業の是正 【事務局】	年2回の継続就業希望会員就業説明会に合わせ、就業期間が満了となる就業先一覧をホームページや事務所で公開した。	長期就業を是正し、適正就業を推進した。

## 6 社会奉仕等の推進

ボランティア活動を通じ、地域社会に貢献するとともに、会員の生きがいの充実やセンターの認知度と評価を高めました。

事業名	実施結果	備考																					
① 市内清掃ボランティア活動 【総務部会】	第1回 6月13日実施 参加者152名 第2回 10月18日実施 参加者135名	会員による市内清掃ボランティアを行った。第2回は、東京しごと財団が行う「広報活動強調月間」に合わせて実施した。																					
② 市事業等へのボランティア協力 【総務部会】	「放課後子ども教室」へのボランティア登録を推進した。	市の実施する「放課後子ども教室」ボランティア募集チラシを入会説明会の際に配布した他、センターロビーへチラシを掲示し、事務局だより（令和元年12月号）へボランティア募集記事の掲載を行うとともに、全会員へチラシを配布した。																					
③ 市内小学校通学児童見守りボランティア活動の実施 【総務部会】	会員による小学校通学児童見守りボランティア活動を地域班単位で行った。 （週1回～5回） 東小学校・西小学校・富士見小学校・栄小学校・小作台小学校	見守りボランティア活動を支援する為、助成金を4月に交付した。 ◎各地域班の活動実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実人員</th> <th>延人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1班</td> <td>17名</td> <td>303名</td> </tr> <tr> <td>2班</td> <td>12名</td> <td>216名</td> </tr> <tr> <td>3班</td> <td>5名</td> <td>152名</td> </tr> <tr> <td>4班</td> <td>12名</td> <td>834名</td> </tr> <tr> <td>5班</td> <td>16名</td> <td>180名</td> </tr> <tr> <td>6班</td> <td>7名</td> <td>130名</td> </tr> </tbody> </table> ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休校日に合わせ、3/3～中止とした。		実人員	延人員	1班	17名	303名	2班	12名	216名	3班	5名	152名	4班	12名	834名	5班	16名	180名	6班	7名	130名
	実人員	延人員																					
1班	17名	303名																					
2班	12名	216名																					
3班	5名	152名																					
4班	12名	834名																					
5班	16名	180名																					
6班	7名	130名																					
④ 高齢者の居場所づくり「サロン事業」の検討（新規） 【総務部会】	他センターを参考に検討した結果、高齢者の居場所としては、市施設が充実している現状を踏まえ、本計画は中止とした。	市民や会員の交流の場として、センターロビーで実施している「ほっとカフェ」をPRしていく。																					

## 7 財源の確保

補助金の確保、自主財源確保のための受注拡大、業務の効率化、経費節減による安定した財政運営を推進しました。

事業名	実施結果	備考
① 「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業補助金」の確保 【事務局】	東京しごと財団を通じて、「高齢者活用・現役世代サポート事業補助金」の申請を行った。 交付決定額 4,200 千円	
② 「福祉・家事援助コーディネーター設置助成金」の確保 【事務局】	東京しごと財団へ、「福祉・家事援助コーディネーター設置助成金」の申請を行った。 交付決定額 2,900 千円	
③ 自主財源確保のための受注の拡大、業務の効率化、経費節減による安定した財政運営の推進 【事務局】	節電の実施や業務委託契約の見直しを行い、経費節減に努めた。	
④ 派遣事業拡大による事務委任手数料の確保 【事務局】	派遣事業実施に係る事務委任手数料収入を得た。 (4,414,057 円)	

## 8 組織の充実

### (1) 組織の充実

理事会を中心に公益法人としての組織運営、財政基盤の確保やセンターにおける就業の適正化を推進するため専門部会等の活動に対する協力、助言等を行い、公益法人としての運営体制の充実に努めました。

事業名	実施結果	備考
① 会員互助会（仮称）の設立に向けた検討（新規） 【総務部会】	互助会設立にあたり、公益認定を改めて受ける必要もあるなど、設立に必要な諸条件を満たすことが困難であるため、検討を中止した。	
② 設立 40 周年事業の実施に向けた準備（新規）	令和元年度及び令和 2 年度の積立は行わないこととした。	令和 3 年度に設立 40 周年を迎えるにあたり、そのあり方を検討するため、令和 2 年度に委員会を立ち上げる。検討結果を令和 3 年度予算に反映する。

事業名	実施結果	備考
③ 定時総会	令和元年6月25日開催 ゆとろぎ小ホール 出席者551名 出席率84%	平成30年度決算及び理事・監事の選任について決議した。
④ 理事会	年13回開催	毎月理事会を開催し、センター運営や業務執行等について審議した。
⑤ 総務・事業・広報部会	随時開催	センターの事業運営を効果的に推進するため、各部会を開催した。また、福祉・家事援助サービス事業推進委員会設置要綱の廃止に伴い、本委員会の所掌事項を事業部会の所掌事項に規定する専門部会設置要綱の一部を改正した。
⑥ 女性部会	年9回開催	女性会員増強・就業拡大に関すること及び技能向上、文化活動に関すること等について検討した。 また、女性部会を中心に令和2年1月から「介護予防体操」を実施した。
⑦ 安全・適正就業推進委員会の開催 【安全・適正就業推進委員会】(再掲)	年6回開催	安全就業の方針の検討や対策、適正就業について協議した。
⑧ 福祉・家事援助サービス事業推進委員会	年5回開催	福祉・家事援助サービス事業を推進するための検討を行った。また、委員会の所掌事項は、概ね終了したものや既に軌道に乗っており、改めて本委員会にて運営していく必要性が無くなり、委員会の役割を終えたと考えることから、令和元年度末で廃止とした。なお、委員会の所掌事項として、規定されていた事業の充実・推進や会員の研修は事業部会が引継ぐこととした。
⑨ 就業開拓委員会	年2回開催	会員の多様な働き方に対応した就業先の確保とシルバー事業の拡大について検討した。
⑩ 中期計画推進委員会	年1回開催	中期計画の進捗状況及び計画内容等について検討を行った。



事業名	実施結果	備考
⑪ 地域班連絡員会議	年1回開催	年会費の集金や地域会員との調整を行い、地域における会員間の交流を図った。
⑫ 地域班長会議	年2回開催	事業運営の情報伝達や要望・意見交換を行った。
⑬ 会員参画の運営	事務局だより（第21号）に提案箱の設置記事を掲載し、会員からの企画提案を募集した。	会員1人ひとりからの意見・要望・企画提案等を募り、センター運営の参考にした。
⑭ 事務局職員の人材育成	目標管理制度を導入し、職員の能力開発・活用を図った。 また、財団派遣制度を活用した。 7月10日～24日実施（10日間） 職員1名 立川市シルバー人材センター	目標管理制度の導入及び財団派遣制度を活用し、事務局職員の人材育成を図った。
⑮ 産業医及び衛生管理者、安全衛生委員会の設置	派遣会員数34名のため、未設置。	派遣会員数が50名以上となった場合設置する。

## （2）地域班への支援・地域班交流事業の実施

会員とセンターとの情報交換、地域社会でのセンターのPR活動、会員相互の親睦と交流等を円滑に行えるよう支援しました。

事業名	実施結果	備考
① 地域班活動への支援	地域班活動をより活性化するため、地域班助成金及び通学児童見守りボランティア助成金を4月に交付した。 令和2年度からの地域班助成金交付基準について、見直しを行った。	地域班活動を支援することにより、地域班活動の活性化を図った。
② 地域班交流事業の実施	2月7日『わなげ大会』実施（スポーツセンター） 参加者60名	会員相互の交流を図った。
③ 地域班のあり方の検討（新規）	地域班長会議において、各班長と意見交換を行った。	地域班の再編成の検討を含め、令和2年度も引き続き検討する。

